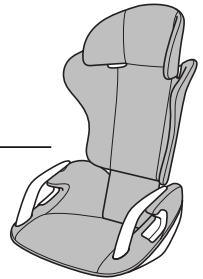


Junior Seat

ジュニアシート取扱説明書



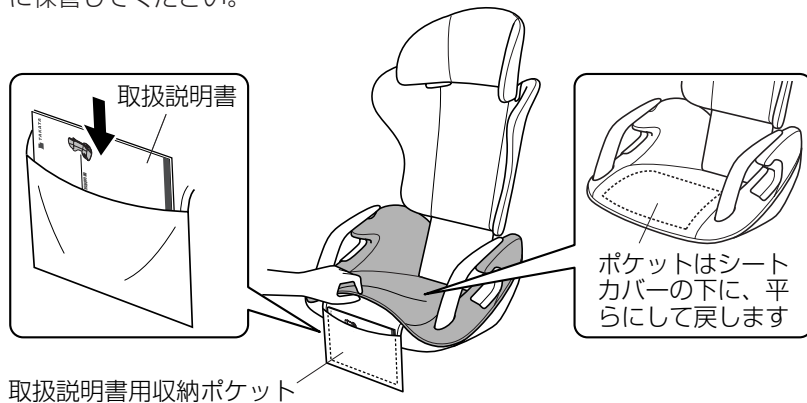
ご使用前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い、正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように、大切に保管してください。

このジュニアシートは、自動車事故などの際に衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗用装置です。
ジュニアシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。



当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと思います。
つきましては、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

取扱説明書は、シートカバー座面部の内側にある取扱説明書用収納ポケットに保管してください。



確認しておきましょう 3

- 次のものがそろっていますか 3
- 各部のなまえ 3

必ずお読みください 4

- マーク表示について 4
- 緊急時には 4
- お子さまの条件 5

ご使用上の注意 6

- 取り付けできるシート 6
- 取り付けできないシート 6
- 取り付けできるシートベルト 7
- 取り付けできないシートベルト 8
- お子さまを乗せるときは 9
- 取り付けるときは 10
- こんなことにも注意して 11

ご使用まへの準備 13

- 背もたれと座面の組み立てかた 13

ご使用方法 14

- お車への取り付けかた 14
- お子さまの座らせかた 15

収納、お手入れのしかた 17

- 背もたれの倒しかた 17
- 背もたれの起こしかた 17
- シートカバーの取り外しかた 18
- シートカバーの取り付けかた 19
- 汚れた場合 19
- 補修部品について 20

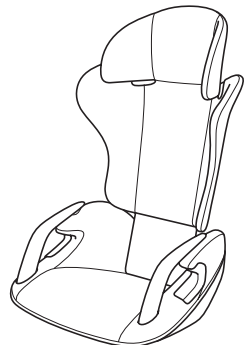
確認しておきましょう

次のものがそろっていますか

ご使用になる前に、下記の商品がそろっているか、確認してください。

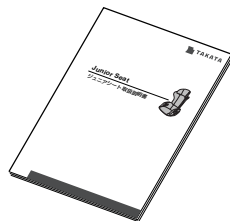
欠品や破損などがございましたら、ご使用にならず、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、品番ラベルに記載されている品番を必ずお伝えください。（P.20 参照）

■ジュニアシート本体



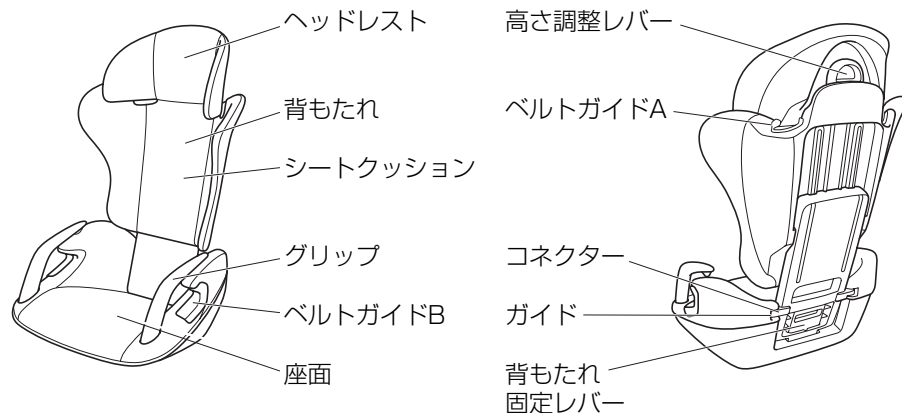
※この図は組立状態です。
（組み立てかたはP.13参照）

■取扱説明書



各部のなまえ

ジュニアシートと合わせてご確認ください。



必ずお読みください

マーク表示について

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。

⚠ 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれが想定される内容を示しています。

⚠ 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。

🔥 アドバイス

ジュニアシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



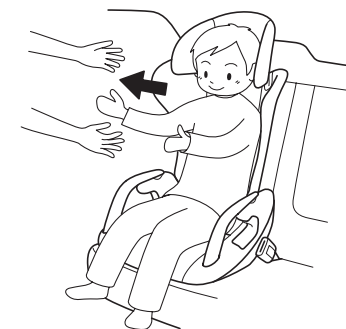
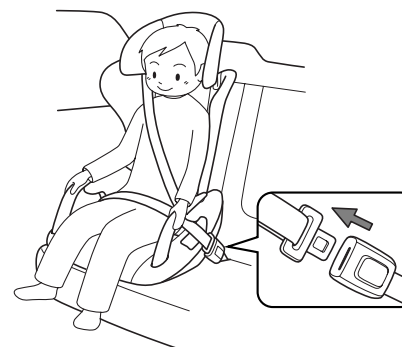
図示されている行為の禁止を示しています。

緊急時には

衝突事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

① お車のバックルのボタンを押してシートベルトのロックを解除し、お子さまにかかっているシートベルトを取り外す。

② お子さまを静かにジュニアシートから降ろす。



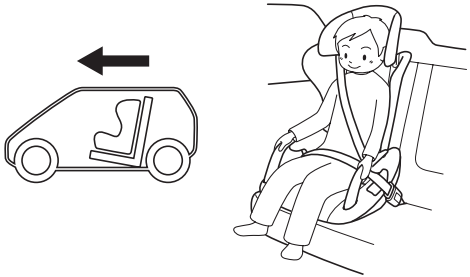

🔥 アドバイス

シートベルトが外れない場合は、シートベルトをハサミなどで切断してお子さまを救出してください。

必ずお読みください

お子さまの条件

このジュニアシートは、ご使用になるお子さまの条件に合っていることを確認し、正しい取り扱いを行ってください。

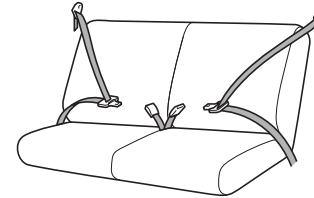
体重	15～36 kg	取り付けかた お車の進行方向に対し前向きに使用します。 
参考年齢	3～12歳ごろ 	

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

ご使用上の注意

取り付けできるシート

進行方向に対し前向きで、3点式シートベルトが付いている座席

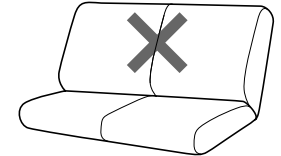


△アドバイス

お取り付けに際しましては、お取り付けになるお車の取扱説明書もあわせてご確認ください。

取り付けできないシート

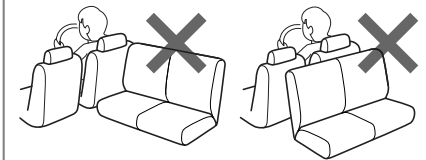
シートベルトが付いていないシート



前方にエアバッグが装備されたシート



横向き・後向きになっているシート



ジュニアシートを取り付けると運転操作の妨げや、視界の妨げになるシート

⚠警告

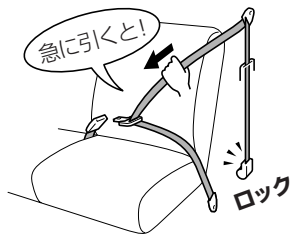
お車のシートが以上のタイプに該当する場合は、ジュニアシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

取り付けできるシートベルト

このジュニアシートは、協定規則第16号（ECE R16）または同等の基準で許可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備したお車にてご使用することができます。

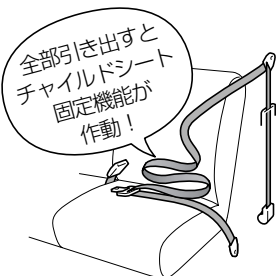
■ELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。



■チャイルドシート固定機構付きELRシートベルト

チャイルドシートを固定するための装置が備えられているタイプ。シートベルトとして通常使用するときにはELR機能が働く。



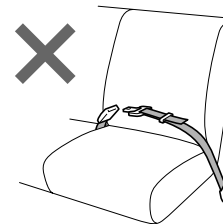
△アドバイス

お車のシートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくはお車の取扱説明書をお読みください。

取り付けできないシートベルト

■2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



■マニュアル式シートベルト

シートベルトの巻取り装置がなく、通常はシート側面などに固定されているタイプ。

■パッシュシートベルト

シートに座りドアを閉め、エンジンキーをONにするると肩ベルトが自動で装着するタイプ。腰ベルトは手動。ベルトをはずすときは、ドアを開けるかエンジンキーをOFFにする。

■NLR（非ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトのロック機構がないため、シートベルトを巻取り装置からすべて引き出し、長さを調整するタイプ

■その他のシートベルト

P.7「取り付けできるシートベルト」に記載されていないシートベルト。

■腰ベルト側に付いたELR（緊急ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く（急ブレーキなどで体が前に投げ出されるとき）とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ。

■ALR（自動ロック式ベルト巻取り装置）付シートベルト

シートベルトを引き出している途中に手を止めると、自動的にロックされ、それ以上ベルトが引く出せない（巻き戻しは可能）タイプ。

△警告

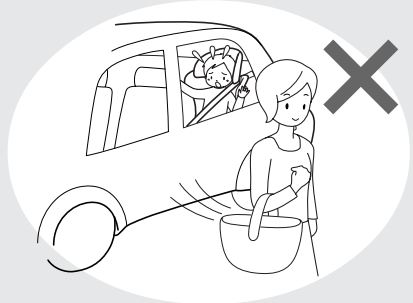
お車のシートベルトが以上のタイプに該当する場合は、ジュニアシートを取り付けることができません。取り付けした場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

ご使用上の注意

お子さまを乗せるときは

⚠ 警告

お子さまだけお車に残した状態でお車から離れないでください。不慮の事故（熱射病やいたずらによる事故など）につながるおそれがあります。



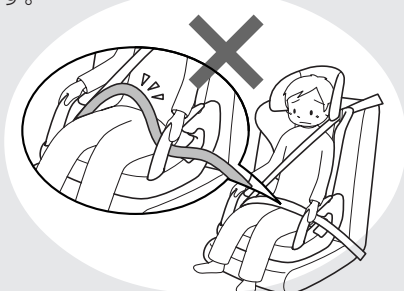
走行中は、お子さまをジュニアシートから乗せ降ろしさせないでください。



ベルトは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。ねじれていると事故の時に重大な傷害を負うおそれがあります。



腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように必ず腰ベルトを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等の時に腹部が圧迫され重大な傷害を負うおそれがあります。



取り付けるときは

⚠ 警告

ジュニアシートを安全に使用していただくため、柔軟材料（専用カバー類・発泡材料等）を取り外したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



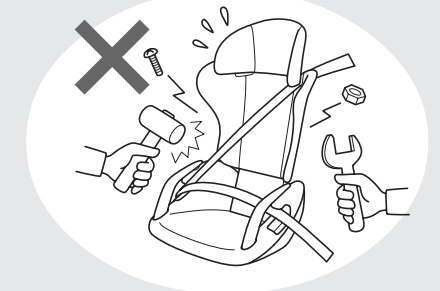
ジュニアシートを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。ジュニアシートが正常な働きをしない場合があります。



肩ベルトが首にかかっていると、事故等の時に圧迫され重大な傷害を負うおそれがあります。首にかからないよう、ベルトガイドの高さを調整してください。



取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



こんなことにも注意して

警告

事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、ジュニアシートにも目に見えない破損があるおそれが強いので、再使用しないでください。



ジュニアシートには、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。

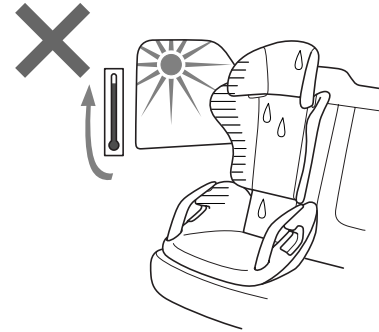


ジュニアシートを保管する時には、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。

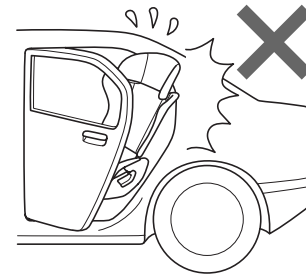


注意

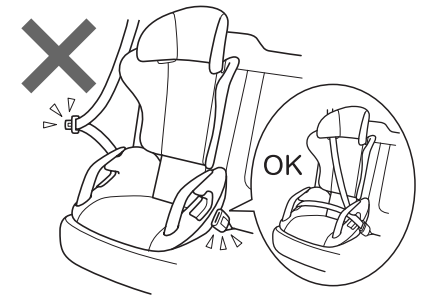
ジュニアシートに日光が当たりますと、熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。



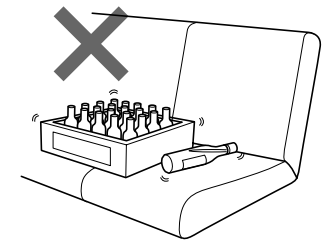
可動式シートまたは車両のドアにジュニアシートの剛性部分（樹脂部分等）が挟まれないようにしてジュニアシートを取り付けてください。



ジュニアシートにお子さまを乗せない時でも、安全のため車のシートベルトで必ず固定してください。衝突や急ブレーキの際にジュニアシートが移動して、ケガなどをするおそれがあります。



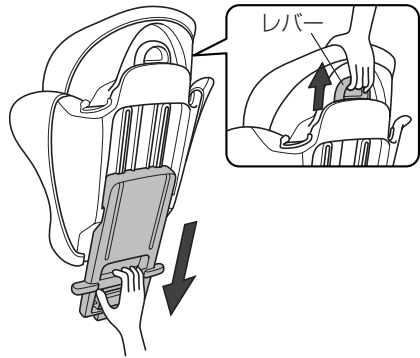
事故発生時に突起物や重量物等、乗員に傷害を与えるような物をお車の中に放置しないでください。万一の時、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。



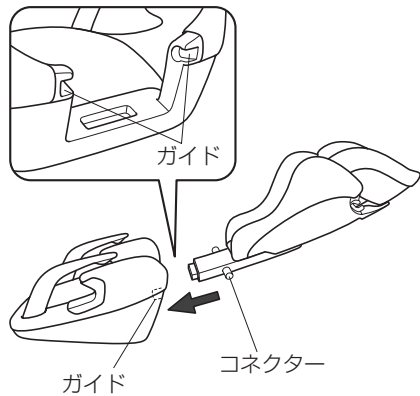
ご使用前の準備

背もたれと座面の組み立てかた

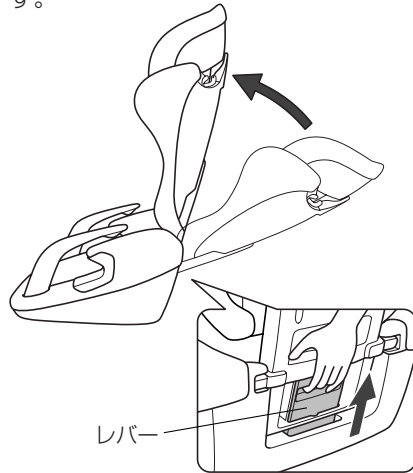
- ① 背もたれ背面上部にあるレバーを引いた状態で、背中部分を最大位置まで伸ばします。



- ② 背もたれのコネクターを座面のガイドに差し込みます。

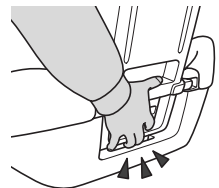


- ③ 背もたれ背面の下部にあるレバーを引き上げた状態で、背もたれを起こします。



⚠ 注意

回転部分やスライド部分に指や物などを挟まないようにしてください。



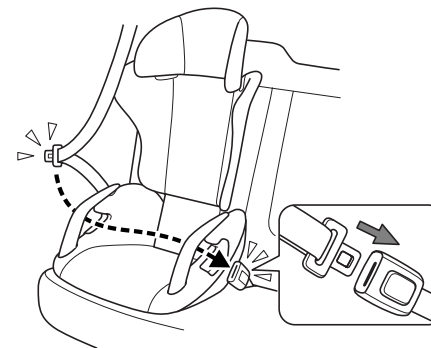
ご使用方法

お車への取り付けかた

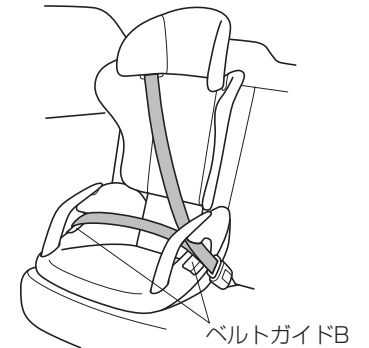
- ① ジュニアシートをお車の座席に置きます。この時、ジュニアシート背面とお車のシートバックの間にできる限り隙間がなくなるように置いてください。ジュニアシートと背もたれのすき間が少なくなるよう、お車のヘッドレスト高さを調整する。



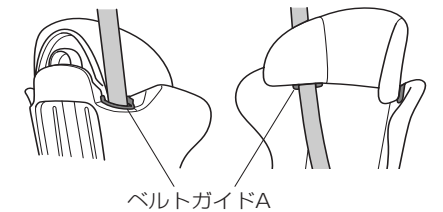
- ② お車のシートベルトをジュニアシート座面のグリップの下を通し、シートベルトを確実にロックします。



- ③ 座面のベルトガイドにシートベルトを通します



- ④ 背もたれのベルトガイドにシートベルトを通します。



⚠ 警告

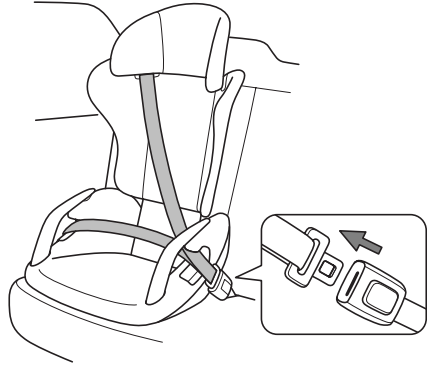
前方にエアバッグの付いた座席では使用しないでください。事故時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

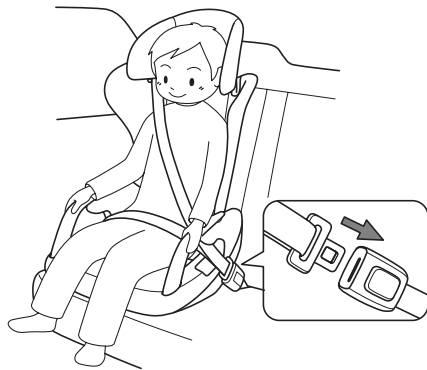
ジュニアシートにお子さまが乗っていない場合でもシートベルトはロックしておいてください。ロックしておかないと、衝突や急ブレーキの際にジュニアシートが移動して、他の乗員がケガをするおそれがあります。

お子さまの座らせかた

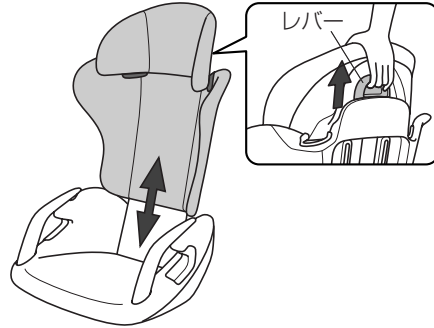
- ①シートベルトのロックを解除します。



- ②お子さまをジュニアシートに深く座らせ、シートベルトを確実にロックします。



- ③お子さまの体格にあわせ、背もたれの高さを調整してください。背面の上部にあるレバーを引くと高さを変えることができます。



アドバイス

背もたれを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえてください。

- ④座面のベルトガイドにシートベルトを通します。シートベルトは必ずベルトガイドを通してください。



警告

シートベルトがお子さまに正しく着用されていないと、衝突時や急ブレーキの時に、重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ⑤背もたれの肩ベルトガイドにシートベルトを通します。



警告

ご使用時にお子さまがグリップ部で指を挟むおそれがありますので注意してください。

グリップ部

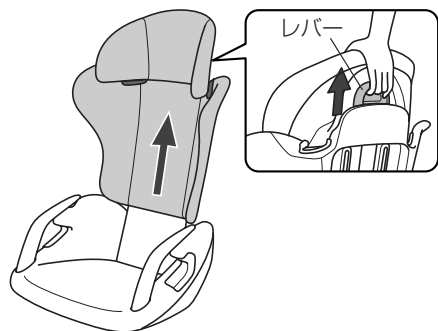
- ⑥お子さまが正しく座れているか、次の事項を確認してください。

- シートベルトがお子さまの首にかからず、肩の上を通っていること。首に掛かっている場合には、背もたれの高さを調節してください。
- シートベルトがお子さまの大腿部の上を通っていること。
- シートベルトは緩みやねじれなくお子さまに着用されていること。

収納、お手入れのしかた

背もたれの倒しかた

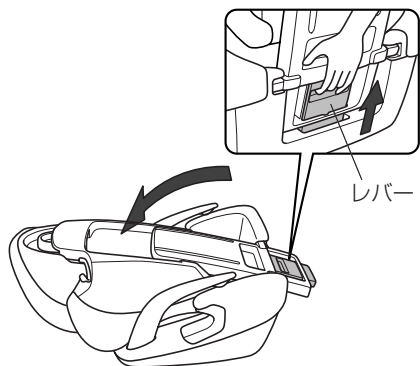
- ① 背もたれ背面の上部にあるレバーを引き、背もたれを最も伸ばした状態にします。



アドバイス

背もたれを引き上げる際、片方の手で座面が動かないように押さえてください。

- ② 背もたれ背面の下部にあるレバーを引き、背もたれを前方に倒します。



アドバイス

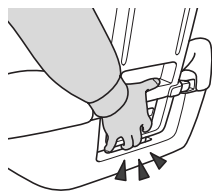
作業はジュニアシートが安定する場所で行ってください。

背もたれの起こしかた

- ① 倒しかたと逆の手順となります。

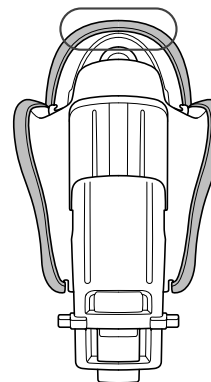
注意

回転部分やスライド部分に指や物などを挟まないようにしてください。

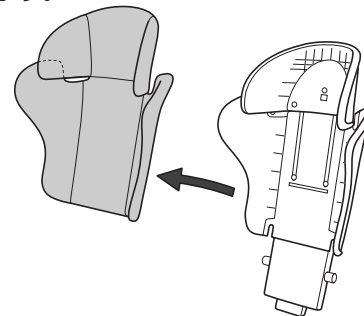


シートカバーの取り外しかた

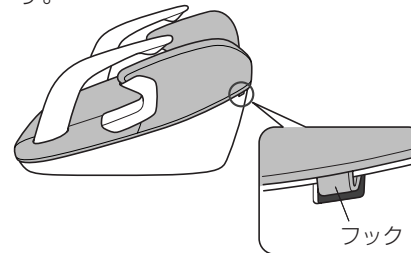
- ① 上部から順にシートカバーを外します。



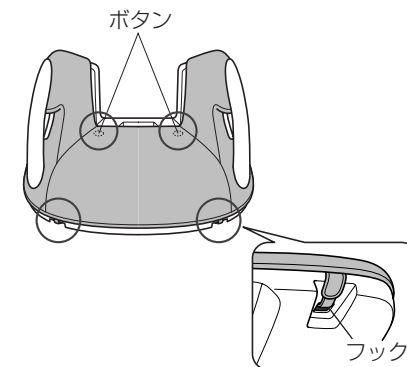
- ② シートカバーを背もたれから取り外します。



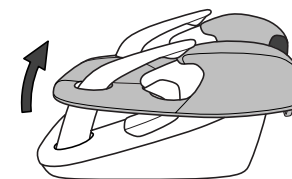
- ③ 座面の背面2ヶ所のフックを外します。



- ④ 座面の表面のボタン、前方のフックを外します。



- ⑤ シートカバーを座面より取り外します。



シートカバーの取り付けかた

- ①取り外しと逆の手順で、背もたれ座面にシートクッションを取り付けます。

⚠ 警告

専用クッション以外は使用しないでください。
事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

⚠ 注意

クッションがズレていたり、本体から浮いていないことを確認してください。
事故時に十分な性能を発揮しないおそれがあります。

汚れた場合

〈シートカバー類〉
中性洗剤を使用して、手で押し洗いします。



⚠ 注意

洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

〈本体〉
柔らかい布で乾拭きまたは水拭きしてください。

⚠ 注意

洗剤類を使用しないでください。変色の恐れがあります。また、水拭き後は完全に乾燥させてから使用してください。

補修部品について

お買い上げの販売店または弊社お客様相談室（☎0120-70-5441）までご連絡ください。
お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、ジュニアシート背面に貼っているラベルの品番を必ずお伝えください。
もし、背面ラベルが無い場合には、側面にあるラベルに記載されている認可ナンバーをお伝えください。

